

プロがテニス指導

滋賀大と橋本総業 連携し教室

プロ選手が指導し、市民く体の動かし方を学ぶべからがスポーツ科学に基づいたテニス教室「SGUテニス



アカデミー」が二十七日、彦根市の滋賀大で始まった。

実業団リーグで優勝経験がある橋本総業（東京）と、同大の道上静香教授（スポーツ科学）が、それ



選手から指導を受ける子どもたち
 テニスアカデミーを開催した（左から）道上教授、橋本社長、吉田総監督。いずれも彦根市金亀町で

その知見を広く伝えようと連携して開催した。今後プロ選手が技術を伝える機会を設けるほか、道上教授の座学も予定している。

この日は市内外の約二十人が大学のテニスコートで、同社の吉田友佳総監督や小関みちか選手から、ストロークやボレーの打ち方を教わった。参加した中学一年の東農由衣さん（こも）は「ボールを打つときにラケットの位置をより高くするとか、悪いところを分かったり、悪く教えてくれた」と話した。

同日に開かれた会見で、同社の橋本政昭社長は「いつか、この教室から世界レベルの選手が出てくれるとうれしい」と語り、道上教授は「体を壊さない適切な動き方も学んで、楽しく夢に向かってテニスを続けてほしい」と話した。

（渡辺雄紀）